

第1回 再資源化等支援検討会 議事録

1. 日時 2020年2月21日(金)10時00分～12時00分
2. 場所 日本自動車会館11階
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 石川座長、小島委員、松井委員、山本委員
自治体担当者
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省・環境省担当官
4. 議題 1. 試行的財政支援拡充事業(モデル事業)
2. 再資源化等業務規程および事業要綱の改定
3. 2019年度 再資源化等支援業務 活動報告(2020年2月報告)
4. 2020年度 再資源化等支援業務 活動計画
5. 2020年度 自治体への出えん計画
6. 2020年度 指定再資源化機関への出えん要望額
7. 座長の互選

5. 会議の概要

(再資源化支援部)

「議題1. 試行的財政支援拡充事業(モデル事業)」について説明。

(委員)

今後、仕様の詳細を検討される際には、本日の意見も参考にしてほしい。

（自治体）

承知した。本日の意見を参考にしながら今後検討したい。

（委員）

議題1. については、承認する。

（再資源化支援部）

「議題2. 再資源化等業務規程および事業要綱の改定」について説明。

（委員）

議題2. については、承認する。

（再資源化支援部）

「議題3. 2019年度 再資源化等支援業務 活動報告（2020年2月報告）」及び

「議題4. 2020年度 再資源化等支援業務 活動計画」について説明。

（委員）

資料9ページ「(1)不法投棄・不適正保管事案解消のための知見の提供」について、次回以降は自治体担当者向け研修の効果等についても報告されたい。また、資料14ページ「(3)災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)の活動」についても、同様に情報提供による効果等の報告を検討してほしい。

（再資源化支援部）

次回以降の報告内容について検討する。

（委員）

資料16ページ「(3)事業認知度の維持・向上」について、比較的小規模な離島住民に向けた新しい周知ツールは、どのような市町村への配付を予定されているか。

（再資源化支援部）

事業が定着していない市町村や島内に関連事業者が不在の市町村への配付を想定している。

(委員)

資料19ページ「(3)自治体への理解・普及」について、2020年度は大規模災害対応に関する説明会を12都道府県、研修会を5都道府県と、いずれも2019年度に比べて開催を拡大させる予定という理解で良いか。

(再資源化支援部)

2020年度は、大規模災害対応に関する説明会及び研修会の開催を拡大したいと考えている。いずれも当部から案内して自治体からの要望に基づき開催しているが、興味を持たれない自治体もあるため、2020年度は必要に応じて主務官庁にも相談しながら、より強く開催を働きかけたい。

(環境省)

2020年度における被災自動車の処理に係る手引書・事例集の更新にあたり、2019年度に災害対応が行われた自治体に対し、事例や課題に関するフォローアップのアンケート調査等は実施できないか。必要に応じて環境省も協力するため、検討されたい。

(委員)

情報提供にあたり、自治体のニーズを把握することは重要だと考える。災害の種別等により、災害廃棄物の対応優先順位や課題が異なることが想定されるため、災害種別毎に被災自動車の位置付けや課題に関する調査を検討してはどうか。

災害対応の全体像を構造化したうえで被災自動車の情報提供を行うことにより、これまで説明会等の必要性を感じていなかった自治体においても災害対応の優先順位が上がり、説明会等の更なる開催に繋がることも期待できる。

(再資源化支援部)

今後、環境省とも相談しながら検討したい。

(委員)

議題3. 及び議題4. については、承認する。

(再資源化支援部)

「議題5. 2020年度 自治体への出えん計画」及び「議題6. 2020年度 指定再資源化機関への出えん要望額」について説明。

(委員)

別紙1「2019年度 離島対策支援事業 市町村別事業計画・事業実績」について、石垣市の実績事業額が11,182千円となり、計画事業額6,279千円に対して178%に超過した要因を説明されたい。

(再資源化支援部)

石垣市の実績が計画を超過した要因は、保有台数の急増を背景に申請台数が増加したことに加え、2019年度から新たに事業活用を開始した島内解体事業者がプレス機を所有しておらず、海上輸送の効率化が図れないために台当たり輸送単価が高くなったことによる。

(環境省)

資料21ページ「(2)計画台数の増加・減少の上位3市町村」について、計画台数を減少させた宮古島市及び与論町で関連事業者が積極的に収集しなくなったことにより使用済自動車が島内に滞留する懸念はないか。2020年度の申請状況も注視してほしい。

(再資源化支援部)

2020年度も引き続き申請状況を注視し、2市町の担当者と情報共有しつつ課題があれば対応する。

(委員)

議題5. 及び議題6. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題7. 座長の互選について説明。

山本委員が座長として選任された。また、座長に事故があるときは、小島委員がその職務を代理することとなった。

（再資源化支援部）

再資源化等支援検討会での承認を受け、2020年度 指定再資源化機関への出えん要望額について、2020年3月2日開催の第88回資金管理業務諮問委員会に上程する。

以上